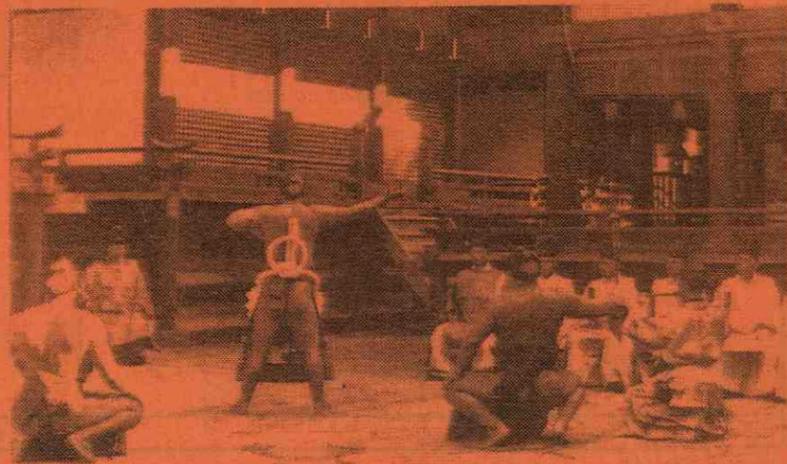


双葉山と宇佐航空隊を中心とした
主な出来事略年譜

| 年 | 双葉山 | 宇佐航空隊・その他 |
|-----------------|---|---|
| 昭和11年 (1936) | 24歳。1月、前頭三枚目。この場所7日目より、69連勝が始まる。 | 2月、2.26事件起こる。 |
| 昭和12年 (1937) | 25歳。5月、場所後推挙され、第35代横綱となる。 | 3月、国会で宇佐海軍航空隊の開隊が承認される。 7月、日中戦争始まる。 |
| 昭和14年 (1939) | 27歳。1月、東横綱。この場所4日目に安芸ノ海に敗れ、連勝は69で止まる。 | 5月、ノモンハン事件。 10月、宇佐海軍航空隊開隊。 |
| 昭和18年 (1943) | 31歳。5月、12回目の優勝。これが最後の優勝となる。 | 7月、掩体壊づくり始まる。 |
| 昭和20年 (1945) | 33歳。3月、東京大空襲で道場、私邸が焼失。 6月、西張出横綱。2日目以降休場。最後の土俵となる。 11月、引退表明。 | 3月、宇佐海軍航空隊、初の空襲。4月、宇佐海軍航空隊より、神風特別攻撃隊出撃。 5月、宇佐海軍航空隊解隊。西海航空隊に編入。 8月、終戦。 |
| 昭和22年 (1947) | 35歳。10月、相撲協会の理事に就任。 | 5月、日本国憲法施行。 |
| 昭和26年 (1951) | 39歳。相撲部屋としては画期的な洋館3階建の部屋を再建。 | 9月、サンフランシスコ講和会議。 |



宇佐神宮で横綱昇進を報告する
双葉山（昭和13年）

宇佐の歴史と双葉山

～相撲と宇佐神宮・宇佐航空隊と双葉山～

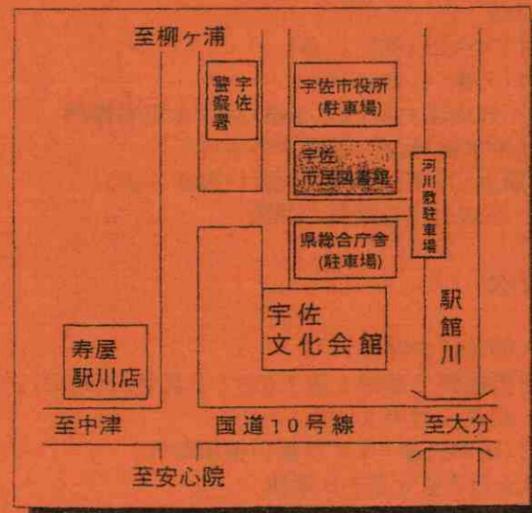
ごあいさつ

明治45（1912）年に現在の宇佐市下庄に生まれた双葉山は、数え年で今年、満年齢では来年、生誕90周年を迎えます。これを記念する関連行事の一環として、このたび、「宇佐の歴史と双葉山～相撲と宇佐神宮・宇佐航空隊と双葉山～」展を開催することになりました。今回は、宇佐神宮と宇佐航空隊を背景に、神事としての起源をもつ相撲の歴史と、戦争のさなかに始動した双葉山の69連勝を、時代のなかからとらえようと試みました。

どうぞゆっくりご鑑賞ください。

平成13(2001)年6月9日

宇佐市民図書館
渡綱記念ギャラリー



平成13(2001)年6月9日 / 発行・宇佐市民図書館
大分県宇佐市上田 1017-1 TEL.0978-33-4600

双葉山生誕90周年記念展

宇佐の歴史と
双葉山

～相撲と宇佐神宮、
宇佐航空隊と双葉山～



2001. 6.9 ～ 7.15

10:00～18:00（日曜のみ ～17:00）
休館日…毎週月曜日・祝祭日・月末木曜日
（6月18日～22日は、蔵書点検期間のため休館）

宇佐市民図書館
渡綱記念ギャラリー

はじめに

相撲については、『古事記』に健御雷神(たけみかずちのかみ)と健御名方神(たけみなかたのかみ)の力比べが、『日本書紀』には野見宿祢(のみのすくね)と当麻蹶速(たいまのけはや)の力比べがそれぞれ記されています。また、6世紀初頭の埴輪に男子力士像が出土しています。

宇佐神宮と相撲の関わりも深く、養老年中(717~724)、朝廷に反旗をひるがえして籠城する隼人に、八幡神が神軍を率いて遠征し、傀儡子(くぐつ・人形)の相撲で誘い、降伏させたといわれています。放生会での相撲は、奈良時代から行われ、全国の八幡社に伝わりました。

さて、昭和の相撲界に輝く一時代を築いたのが宇佐出身の横綱・双葉山定次です。

双葉山の活躍に国民が沸きかえる頃、日本は大きな時代のうねりの中にありました。日中戦争のさなかに69連勝が始まり、そのころ、宇佐航空隊がつくられました。やがて、横綱の勢いと国家の隆盛が重なるように、大戦の火ぶたが切られるのです。

終戦の年、双葉山も現役を退きます。敗戦による国民の疲弊を象徴するような引退でした。しかし戦後、時代の復興に呼応し、双葉山も後進の指導や相撲協会の運営にあたり、角界の発展に貢献しました。

不世出の横綱の生涯と、戦争の時代といわれた激動の昭和史の、数奇な符合をみることができます。



宇佐の歴史と双葉山

～相撲と宇佐神宮、宇佐航空隊と双葉山～

出品目録

●相撲と宇佐神宮

| | | |
|------------------------------|----|---|
| 男子力士像埴輪(和歌山県井辺八幡山古墳出土) | 写真 | 1 |
| 八幡古表神社(福岡県豊前市)の神相撲 | 写真 | 2 |
| 神相撲の傀儡子(八幡古表神社) | 写真 | 2 |
| 古要神社(中津市)の神相撲 | 写真 | 2 |
| 化粧井戸(真名井) | 写真 | 1 |
| 浮殿跡出土土器 | | 5 |
| 『浮殿遺跡(調査報告書2001)』大分県教育委員会 | | 1 |
| 『応永御造営日記』(放生会と相撲) | | 1 |
| 神相撲を奉納していた和間神社・浮殿 | 写真 | 1 |
| 応永27(1420)年の「和間浜放生会法用場絵図」 | 写真 | 2 |
| 文久4(1864)年の「宇佐官幣使参順路図」(化粧井戸) | 写真 | 1 |

●御用木雲右衛門

| | | |
|--------------------------------|-----|---|
| 御用木雲右衛門の錦絵 | 写真 | 1 |
| 御用木の墓(市内・慈眼寺) | 写真 | 1 |
| 御用木の記念碑(市内・乙咩神社東側・明治8年建立) | 写真 | 1 |
| 御用木「免状之事」(古文書・安政6[1859]年) | | 1 |
| 『史談』[力士御用木号](大正13年12月発行・宇佐史談会) | | 1 |
| 御用木音頭 | | 1 |
| 相撲番付(文久2[1862]11月) | | 1 |
| 相撲番付(天保14[1843]年) | 複製 | 1 |
| 大関・不知火諾右衛門/小結・御用木雲右衛門 | | |
| 乙咩神社手水鉢(伝承・御用木の手形石) | 写真 | 1 |
| 『相撲起頭』(江戸時代の相撲番付・取組み表) | 複製本 | 3 |
| 8代横綱・不知火諾右衛門の錦絵 | 写真 | 1 |

●双葉山定次

| | | |
|--|----|---|
| 双葉山大関時代の写真 | 写真 | 1 |
| 宇佐神宮祈願祭で奉納土俵入りをする双葉山(昭和11年) | 写真 | 2 |
| 相撲絵 双葉山対男女ノ川 | | 2 |
| 相撲番付(昭和15年1月/双葉山横綱時代) | | 1 |
| 武運長久を祈る寄せ書き日章旗 (双葉山、男女ノ川など第一線力士33名) | | 1 |
| 長男の経治さんを抱く双葉山 | 写真 | 1 |
| 人形「太刀をもつ双葉山」「双葉山土俵入り木像」 | | 2 |
| ミニチュアやぐら(双葉山、男女ノ川、羽黒山などの四股名がみえる) | | 1 |

| | | |
|--|----|---|
| 双葉山横綱時代の板番付(宇佐神宮・絵馬殿) | 写真 | 1 |
| 新聞各社「写真ニュース」より双葉山記事 | 写真 | 4 |
| 『富士』2月号「力士写真大画報」 | | 1 |
| 中国北部の陸軍病院を慰問する双葉山 | 写真 | 1 |
| 朝鮮総督府南次郎大将と双葉山 | 写真 | 1 |
| 戦地慰問で戦車に乗る双葉山 | 写真 | 1 |
| 双葉山関連新聞記事パネル | 写真 | 7 |
| 双葉山関連新聞記事スクラップブック | | 1 |
| 映画「双葉山物語」【怒濤編】【栄光編】 (東映作品)8ミリ映画フィルム | | 2 |
| 映画「双葉山物語」附属の音声テープ | | 1 |
| 大相撲力士カード | | 1 |

●宇佐航空隊関連

| | | |
|---|----|-----|
| ハワイ真珠湾攻撃実施作戦会議後の記念写真 | 写真 | 1 |
| 真珠湾攻撃の状況を伝える写真 | 写真 | 2 |
| 陸海空総攻撃双六 | | 1 |
| 同期の桜(宇佐航空隊員写真集) | 写真 | 8 |
| 零戦52丙型イラスト | | 1 |
| 昭和20年8月8日の畑田空襲で炭になった米 | | 1 |
| 爆弾の破片と焼夷弾の燃え残り | | 1 |
| 城井1号掩体壕より出土した遺物 | | 1 1 |
| 宇佐海軍航空隊相撲大会の記念写真 | 写真 | 1 |
| 宇佐海軍航空隊慰霊碑 | 写真 | 1 |
| 畑田地区に残る掩体壕 | 写真 | 1 |
| 中津市の日本電信電話公社和田通信所で使用 されていた通信機(木内秀彦氏寄贈) | | 3 |
| 宇佐海軍航空隊で使用されていた食器類 | | 1 1 |
| 定額貯金証書入 | | 1 |
| 軍隊手帳 | | 1 |
| サーベル | | 1 |
| 航空隊跡地からの出土遺物(電圧計、照準計、 計器板、計器ボックス、水準器、電話機、スパナ、 運動会の記念プレート) | | 1 0 |
| 双眼鏡(中津市・加来準吾氏寄贈) | | 1 |
| 桜花11型(モデル) | | 1 |
| 桜花風防ガラス | | 1 |
| 桜花搭載のロケット噴射管 | | 1 |
| 一式陸攻に装着された桜花(モデル) | | 1 |
| * * * | | |
| 宇佐市航空写真(関連スポット案内) | | 1 |